

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

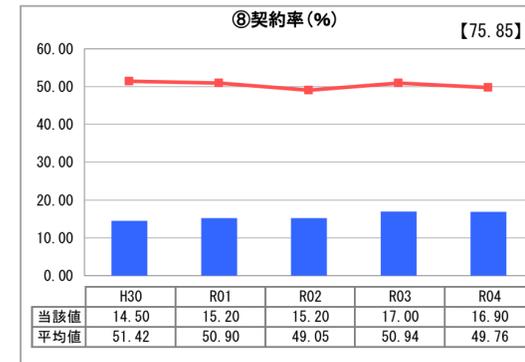
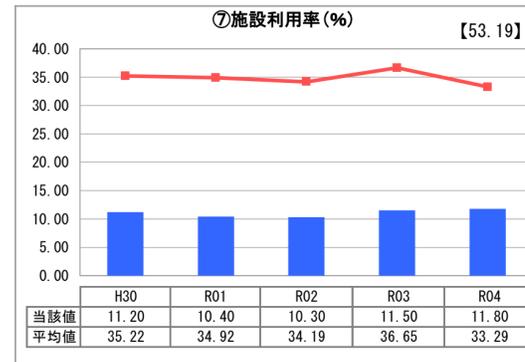
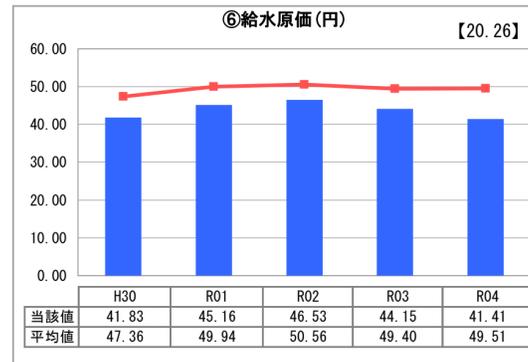
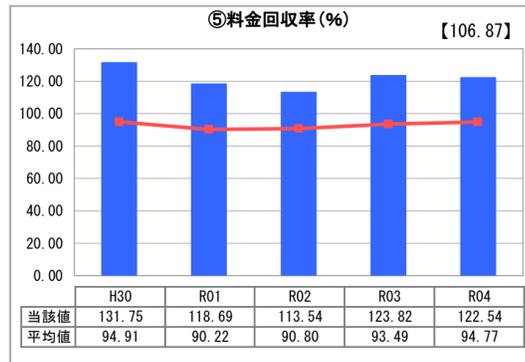
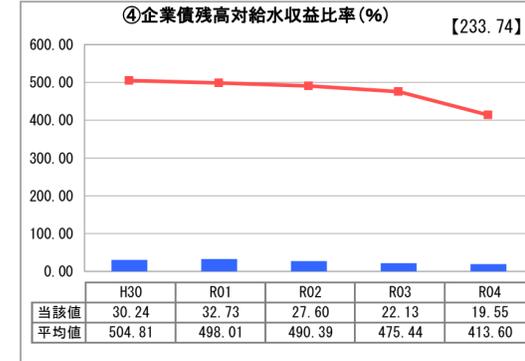
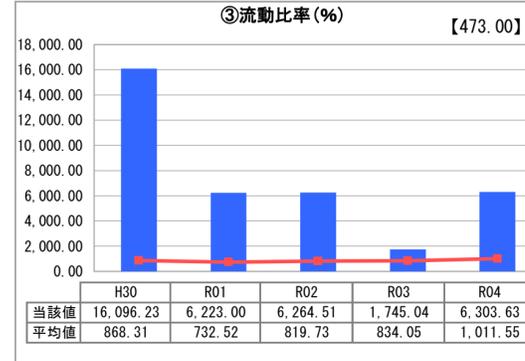
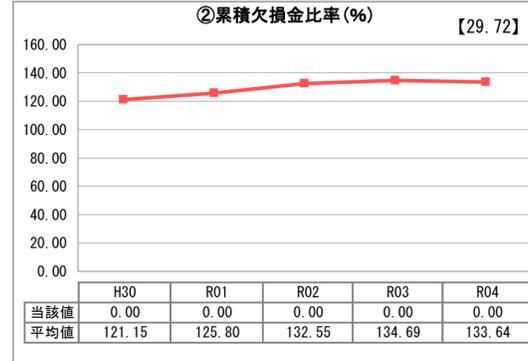
熊本県 熊本市

【事業概要】

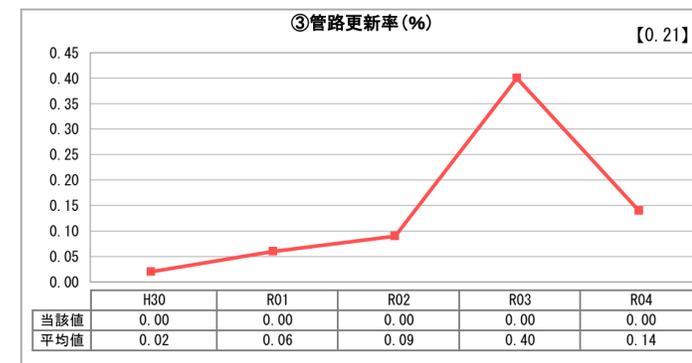
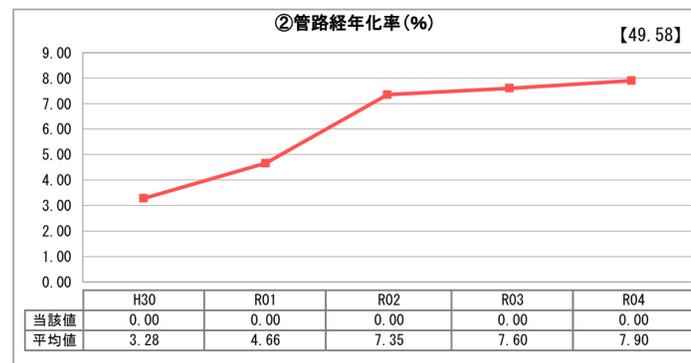
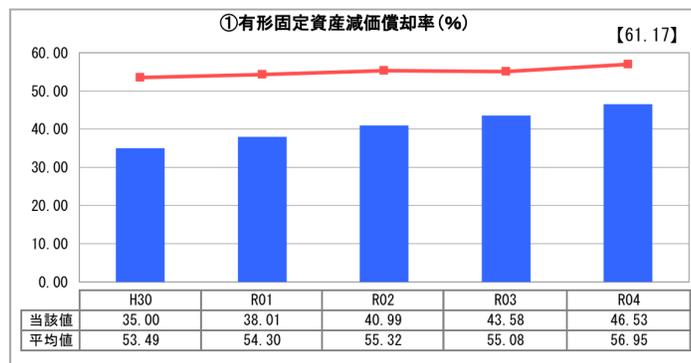
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,000	極小規模	1	118
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	98.8	10	169	自治体職員	

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の工業用水道事業は、平成22年3月23日、市町村合併により本市に引き継がれました。平成6年に分譲が開始され、平成10年度から入地が始まり、現在10社に供給しており、全区画の分譲が完了しました。規模が非常に小さいため、効率化を進めるには限界がある状態です。

①経常収支比率は100%以上を維持し、単年度収支は黒字で推移しています。

②累積欠損率は、0%を示しており、健全な経営状況であるといえます。

③流動比率は、類似団体平均値を上回っており、十分な支払い能力がある状態です。

④企業債残高対給水収益比率は企業債残高が少ないため、類似団体平均値を大幅に下回っています。

⑤料金回収率は100%を超えており、料金収入のみで給水に係る費用を賄っています。

⑥給水原価は類似団体平均値を下回っており、今後も効率的な経営に努めていきます。

⑦施設利用率は、配水量の伸び悩みにより類似団体平均値より低く推移しています。

⑧契約率は、施設利用率と同様に、契約水量の伸び悩みにより類似団体平均値より低く推移しています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値よりも低く推移しています。

②管路経年化率、③管路更新率については、法定耐用年数を迎える管路がないため、更新を行っていません。

全体総括

料金収入が減少したものの、維持管理費等の費用を賄うことができたため、一般会計からの繰り入れを受けることなく、純利益を計上することができました。

全区画の分譲が完了したことから、引き続き関係部局との連携を図りながら、工業用水の安定供給のために、令和2年度から実施している「熊本市上下水道事業経営戦略」に則った事業運営に取り組んでいます。